

紹介文献 2

- | | | | | | |
|----|--------------|-------------|------|--|------------------------------|
| 1 | 小野 文雄 | 1973 (昭和48) | 年 3月 | 文書館によせて | 『文書館報』 2 |
| 2 | 佐久間好雄 | 1978 (昭和53) | 年 3月 | 埼玉県立文書館にのぞむ | 『文書館報』 5 |
| 3 | — | 1978 (昭和53) | 年 5月 | 埼玉県における古文書所在確認調査 | 『史料協会報』 3 |
| 4 | 吉本 富男 | 1978 (昭和53) | 年10月 | 文書館の活動状況と将来計画について | 上野茂編著『思い出の図書館』 |
| 5 | 重田 正夫 | 1978 (昭和53) | 年12月 | 埼玉県古文書所在確認調査 | 『埼玉地方史』 6 |
| 6 | 竹内 克好 | 1979 (昭和54) | 年 3月 | 公文書の保存に思う | 『文書館報』 6 |
| 7 | 大村 進 | 1979 (昭和54) | 年 4月 | 文書館・公文書館の近代文書とその分類 | 埼玉県立文書館
『日本古文書学講座11 近代編Ⅲ』 |
| 8 | 田代 脩 | 1980 (昭和55) | 年 6月 | 文書館の一つの役割 | 『文書館報』 7 |
| 9 | 埼玉県地方史研究会事務局 | 1980 (昭和55) | 年 6月 | 埼玉県立文書館の新館構想について | 『埼玉地方史』 9 |
| 10 | 吉本 富男 | 1981 (昭和56) | 年 1月 | 埼玉県立文書館の現状と課題 | 『和歌山県史研究』 8 |
| 11 | 森田 雄一 | 1981 (昭和56) | 年 3月 | 近世埼玉の被差別部落—鈴木家文書の概要と刊行の意義— | 『郷土資料ニュース』 30 |
| 12 | 原島 陽一 | 1981 (昭和56) | 年 6月 | 埼玉県立文書館への期待 | 『文書館報』 8 |
| 13 | 森 連 | 1982 (昭和57) | 年 3月 | 歴史資料としての公文書 | 『郷土神奈川』 12 |
| 14 | 宇高 良哲 | 1982 (昭和57) | 年 6月 | 将来の文書館像 | 『文書館報』 9 |
| 15 | 森 連 | 1982 (昭和57) | 年 6月 | 歴史資料としての公文書 | 『文書館報』 9 |
| 16 | 相原 陽三 | 1982 (昭和57) | 年11月 | 埼玉県立文書館を視察して—設立までの経過— | 『仙台郷土研究』 225 |
| 17 | 山田 秀 | 1983 (昭和58) | 年 7月 | 新装なった埼玉県立文書館 | 『西日本文化』 193 |
| 18 | 森 連 | 1983 (昭和58) | 年 8月 | 埼玉県立文書館の現状 | 『地方史研究』 184 |
| 19 | 吉本 富男 | 1983 (昭和58) | 年10月 | 埼玉県立文書館条例 | 『ジュリスト』 800 |
| 20 | 岡田 博 | 1983 (昭和58) | 年10月 | 情報公開と文書館 | 『文書館報』 10 |
| 21 | 北川 健 | 1984 (昭和59) | 年 3月 | 情報公開システムの登場と文書館—埼玉県立文書館を見学しての記— | 山口県文書館『文書館ニュース』 18 |
| 22 | 重田 正夫 | 1984 (昭和59) | 年10月 | 埼玉県寺院聖教文書遺品調査 | 『埼玉地方史』 16 |
| 23 | 原 由美子 | 1985 (昭和60) | 年 8月 | 行政文書整理試論—総目録第2集を編集して— | 『文書館紀要』 1 |
| 24 | 小暮 利明 | 1985 (昭和60) | 年 8月 | 本館における教育普及活動—古文書解読講座・講習会— | 『文書館紀要』 1 |
| 25 | 重田 正夫 | 1986 (昭和61) | 年 8月 | 埼玉県における文書館活動の現況—県立文書館の普及事業と市町村文書館への展望を中心に— | 『地方史研究』 202 |
| 26 | 新井 寿郎 | 1986 (昭和61) | 年12月 | 埼玉県立文書館の収蔵地図について—秋葉一男(埼玉県立文書館長)氏に聞く— | 『地図情報』 6-3 |
| 27 | 原 由美子 | 1987 (昭和62) | 年 6月 | 県庁文書整理の実際と問題点 | 『アーキビスト 全史料協関東部会会報』 13 |
| 28 | 窪田 祥宏 | 1987 (昭和62) | 年 7月 | 埼玉県立文書館の紹介 | 『日本教育史研究』 6 |
| 29 | 重田 正夫 | 1987 (昭和62) | 年 7月 | 埼玉県立文書館の収蔵文書について | 『古文書研究』 27 |
| 30 | 青木 久夫 | 1988 (昭和63) | 年 1月 | 県立文書館における行政文書の取扱いについて | 『アーキビスト 全史料協関東部会会報』 14 |
| 31 | 重田 正夫 | 1988 (昭和63) | 年 3月 | 埼玉県立文書館における「民間史料」の位置付けについて | 『アーキビスト 全史料協関東部会会報』 15 |
| 32 | 佐原 和久 | 1989 (平成元) | 年 3月 | 収集地図の整理に向けて | 『文書館紀要』 3 |
| 33 | 太田 富康 | 1989 (平成元) | 年 3月 | 文書館施設のサイン装置—エントランス・ポーチ床面彫刻設置事業を通しての雑感— | 『文書館紀要』 3 |
| 34 | 原 由美子 | 1989 (平成元) | 年 3月 | 文書館・史料館めぐり③ 埼玉県立文書館 | 『日本歴史』 490 |
| 35 | 佐原 和久 | 1990 (平成2) | 年 3月 | 行政文書添付地図の類型化—明治期・大正期を中心に— | 『文書館紀要』 4 |

- 36 須長 宜久 1991 (平成3)年3月 歴史資料の保存及び利用に向けて—規程整備の経緯—
『文書館紀要』5
- 37 — 1991 (平成3)年8月 埼玉県立文書館条例 『地方自治職員研修』321(臨時増刊号37)
- 38 関根敬一郎 1992 (平成4)年4月 埼玉県立文書館条例 『ジュリスト増刊 新条例百選』
- 39 長谷川 宏 1992 (平成4)年7月 当館収蔵文書に含まれる書籍の目録作業進行状況と課題
『文書館紀要』6
- 40 井上 涼子 1992 (平成4)年7月 埼玉県立文書館収蔵近代雑誌目録 『文書館紀要』6
- 41 吉本 富男 1993 (平成5)年3月 所沢市立文書館設立への期待
—埼玉県立文書館の運営をとおして— 『所沢市史研究』16
- 42 河田 重三 1993 (平成5)年7月 埼玉県立文書館に地図センター開設される 『埼玉地理』17
- 43 白田 勝美 1994 (平成6)年3月 埼玉県における市町村行政文書の現状と課題
—市町村行政文書の所在保存実態調査を集計して—
『文書館紀要』7
- 44 — 1994 (平成6)年3月 埼玉県内外所在文書の基礎的調査研究
『博物館等調査研究事業概報 第2集』
- 45 栗山 欣也 1995 (平成7)年3月 文書の保存と史料の保存
—文書規程と文書館条例・管理規則— 『文書館紀要』8
- 46 新井 浩文 1995 (平成7)年3月 古文書史料の保存と利用
—当館における保存・利用をめぐる— 『文書館紀要』8
- 47 谷澤 道子 1995 (平成7)年3月 明治期行政文書原本保全事業について 『文書館紀要』8
- 48 佐藤 幸広 1995 (平成7)年3月 歴史資料と情報処理技術の導入
—パソコンを使用した資料の整理— 『文書館紀要』8
- 49 武井 尚 1995 (平成7)年4月 知の宝庫・県内博物館めぐり③
さいたまのふみくら 埼玉県立文書館 『埼玉自治』537
- 50 新井 浩文 1996 (平成8)年3月 行政文書の劣化状態調査について
—起案用紙の劣化を中心に— 『文書館紀要』9
- 51 河田 重三 1997 (平成9)年3月 収蔵地図の社会科学習における利用についての一考察
—三郷市に関する地図を中心に— 『文書館紀要』10
- 52 今尾 恵介 1997 (平成9)年9月 地図を訪ねて(7) 埼玉県立文書館地図センター
『地図ニュース』300
- 53 白井 哲哉 1998 (平成10)年3月 文書館普及活動における二つの試み 『文書館紀要』11
- 54 原 由美子 1998 (平成10)年3月 史料をみる眼—文書館実務雑感— 『文書館紀要』11
- 55 — 1998 (平成10)年3月 県内外所在の基礎的史料の研究
『博物館等調査研究事業概報 第3集』
- 56 岡田 英行 1999 (平成11)年3月 文書館の利用と活用—博学連繋の視点から— 『文書館紀要』12
- 57 笠原 健司 2000 (平成12)年6月 埼玉県立文書館「地図センター」の紹介 『地図情報』20-1

[文書館の定期刊行物]

- 文書館報 1972 (昭和47)年・第1号~1983 (昭和58)年・第10号
埼玉県立文書館概要 1975 (昭和50)年~1983 (昭和58)年
資料案内 1977 (昭和52)年・第1号~1993 (平成5)年・第17号
要覧 1984 (昭和59)年・第1号~2000 (平成12)年・第18号 [続刊中]
文書館紀要 1985 (昭和60)年・第1号~2001 (平成13)年・第14号 [続刊中]
埼玉県史研究 1994 (平成6)年・第31号~2000 (平成12)年・第35号
彩の国さいたま史料編さんだより 1994 (平成6)年・第2号~1999 (平成11)年・第5号

- 注1) 『文書館報』からは署名寄稿のみを掲出し、事業報告・調査報告等は掲出してない。
注2) 『資料案内』は学校教材への文書館資料の紹介を行っているが、個別には掲出しなかった。
注3) 『文書館紀要』からは館の事業を対象としたもののみを掲出した。
注4) 『埼玉の文化財』(埼玉県文化財保護協会発行)にも、ほぼ毎号に調査・事業報告が収載されているが、個別には掲出しなかった。
注5) 埼玉協及び全史料協の紹介・関連文献は多数に及ぶため掲出しなかった。各『会報』のほか、全史料協関東部会編『文書館学文献目録』(1995年11月、岩田書院)、新井浩文「都道府県史料協の成果と課題—埼玉県地域史料保存活用連絡協議会の最近の活動から—」(『文書館紀要』12、1999年3月)等を参照されたい。